

# 合同で慰霊祭

宗教NGO  
ネットワーク

県内の宗教関係者らでつくる「人道援助宗教NGOネットワーク」(RNN)は岡山市北区尾上の神道山にある黒住教本部で、合同慰霊祭を行った。

真言宗、金光教、立正佼成会、天台宗、黒住教の宗教家や信者ら約80人が出席。国際医療ボランティア・AMDA(同伊福町)の菅波茂代表が「支援と弔いという双方から、今後も被災者を救済しよう」とあいさつした。

RNN委員長で永宗幸信・天台宗本性院住職(倉敷市玉島黒崎)

も「震災は1年たてば終わりではない。周囲と語り合い、忘れずに生きていくことが大切」と訴えた。

地震発生の午後2時

46分に出席者全員で黙とうをした後、順番に犠牲者の冥福と被災地の復興を祈った。

RNNは、東日本大震災発生後、AMDAの活動を支援する街頭募金や、慰霊祭を実施。19日には岩手県大槌町の

県立大槌

高吹奏楽部

を岡山に招

き、コンサ

ートを開く

ほか、21日

には同町で

行われる慰

霊祭に参列

し、被災者

との絆を深

めるとい

う。

(森川進豪)

犠牲者の冥福や復興を祈ったRNNの  
合同慰霊祭

